



「いくつもの時代の波に打ち勝って成長を続け『幸せの輪』を広げる」という企業理念を、生花祭壇と天井の生花アレンジで表現

女性創業者を自社結婚式場で 明るく華やかに送る

島川久子 お別れの会

関西新生活互助会・KSGグループの会長であった故島川久子氏のお別れ会が、兵庫県西宮市の「サンパレス六甲」で5月14日に行われた。

福岡県生まれの故人は、兵庫県三田市の三田高等女学校(現有馬高等学校)を卒業後、日本赤十字社の姫路高等看護学院(現姫路赤十字看護専門学校)に進学。同校を卒業後は福岡県に戻り県の技術吏員技師として勤務した。1957(昭和32)年、島川商店を経営していた夫との結婚を機に兵庫県に移り住み、離婚する

と、78年に関西新生活互助会を立ち上げ、社長に就任。女性ならではの感性をもとに経営手腕を発揮し、2003年に長女の高橋泉氏がCEOを務めるKSGグループの名誉会長に就任した。

お別れ会の会場に選ばれたのは、グループの施設で最大の収容力をもつ、結婚式場・サンパレス六甲の3階にある披露宴会場「ロワイヤルプラン」。会場設営にあたっては、できる限り葬儀のイメージを排し、明るく華やかな演出が志向され、結婚式用のオブジェなども使用された。

色とりどりの洋花が用いられた生花祭壇は波

【祭壇データ】

- 祭壇サイズ
間口10.9×高さ2.6×奥行1.8m
- 使用花材
スプレーバラ800本、トルコギキョウ800本、アルストロメリア400本、スプレーマム300本、ピパーナム100本、オリエントリリ50本、プリザーブドフラワー250輪 等
- 使用資材
アルミ花台、オーガジー、発泡スチロール 等
- 造形サイズ
高さ90×幅60cm
- 制作時間
6人で4.5時間

のイメージで、間口は約6間。「小さな商店が現在のように大きくなり、さらにこれからは時代の波に打ち勝ち、成長を続けていく」という故人への誓いを表現。遺影右下には、グループの経営理念「Keep on Serving to Guest」を意味するKSGの文字が赤い花で刻まれた。目を引いたのが天井に飾られた生花アレンジ。そのデザインは、同グループが目指す「お客様の幸せ」を表わし、生花アレンジから伸びるオーガジーの幕がその「幸せの輪」を広げていくというグループの決意を示している。



式場となった「ロワイヤルプラン」には、300席を用意した

オートバックスセブン相談役の住野公一氏が、「川の流れるように」と「秋桜」をチェロで献奏



社員を代表して「故人への感謝」と「今後の決意」を述べる、専務取締役の梅原栄次氏

故人と二人三脚で頑張ってきたKSGグループCEO高橋泉氏による主催者献花



双子の孫の自筆画などが展示されたメモリアルコーナー

1階に設けられた受付は、「御来賓」「互助会・兵庫総連」「金融関係」「KSGグループ」「一般」に区分され、大勢の参加者にスムーズに対応した



式場入口横に設置された芳名板



会場となったサンパレス六甲は、中国自動車道西宮北IC至近のロードサイド立地

式次第

- 14:00 開会
- 14:01 慰労
- 14:05 献奏
- 14:15 軌跡DVD上映
- 14:20 弔辞(2人)
- 14:30 弔電拝読
- 14:35 社員代表お別れの言葉
専務取締役 梅原栄次
- 14:45 主催者謝辞
- 14:55 主催者献花
- 14:56 遺族献花
- 15:00 役員献花
- 15:05 代表献花
- 15:10 来賓献花
- 15:20 社員献花
- 15:30 立食
散会



フェューネラル
レポート

●日時
2015年5月14日(木)
14時00分～15時30分

●場所
サンパレス六甲
(兵庫県西宮市)

●故人名
島川久子(KSGグループ会長)
2015年4月4日死去(85歳)

●式形態/無宗教献花方式

●祭壇形式/生花祭壇

●会葬者数/456人

●主催者/高橋泉

●旅行業者
メモリアルグループ(兵庫県三田市)

●生花業者
エフコーポレーション
(兵庫県三田市)